

第371号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



自分を大切に

今年も押しつさり、慌ただしい季節となりました。歳末商戦や忘年会の賑やかなシーズンですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和2年もあつという間に過ぎ去ろうとしています。中国の武漢で昨年末に発生した新型コロナウイルスの世界的流行の感染が治まるどころか、第2波、第3波と感染が拡大し、世界の感染者が11月23日現在5800万人を超え、死者も138万人を超えました。各国が閉鎖状態が続いて経済活動が停滞し、先進国でも雇い止めや解雇で貧困に陥る人が増え、特にシングルマザーなどの一人親世帯が職を失い、子供たちに食事を与えられないほどに困窮する事態は悲しいです。

日本でもコロナ感染が9月に入り治まりかけた気配に、政府が休業要請していた観光業やホテル業・飲食店・居酒屋などの経済支援として、消費喚起策「GOTOキャンペーン」が始まりました。観光支援策のトラベルのポイント付きや飲食店支援のイートもプレミアム付き食事券が割安だと人気が高まり、自粛で移動や会合・会食を控えていた人々がいつせいに動き出し、11月に入ると寒さもありコロナ感染が急拡大し、「GOTOキャンペーン」の運用を一部見直すと言音首相が表明しました。コロナ禍で年末から正月は寂しくなりそうです。



カット：本多 紘子

半年前から加熱していた経済大国アメリカの大統領選挙は、現職の共和党である74歳のトランプ大統領と77歳の民主党選出のバイデン氏とのすざましい戦いで、国を二分するほど熾烈でした。11月3日が投票日でしたが、世界で一番多く新型コロナの感染者が多いことを心配して、当日の会場投票より郵便投票が多かったのが特徴です。そのため州によって開票作業が遅れて集計結果がなかなか判明しませんでした。11月15日頃にはバイデン氏の当選が確定になったと発表されました。トランプ大統領は敗北を認めず、根拠もなしに郵便投票には不正があったと訴訟に持ち込むのは残念です。潔く自分の負けを認め、相手を讃える心がなければ、大統領として寂しすぎますね。

仏典『ダンマパダ』に「自分を本当に大切にする人は、他の人も自分と同じように大切にされる。手を謹み、足を謹み、言葉を慎み、思慮して語り、心が浮つくことなく、心を安定統一して、一人でいて安らかなる人を修行僧と呼ぶ。事柄と真理を明らかにする修行を励め」とありますが、アメリカの大統領らしく引き際を飾って欲しいです。

それにしても新型コロナウイルスによって、今年の一年間は世界中の人の日常生活と経済活動に試練を与え、新しい課題と問題を突きつけました。外出時はマスクをつけることが義務化され、行きたいところに行けず、友人や家族にも会えず、遊びも控え、働く場所にも行けないという人間の結びつきを引き裂かれる不安を感じます。集まって誕生日を祝うことも、葬儀に参列しお別れの言葉を手向けることも出来なくなり、ありとあらゆる人間的な営み、社会関係、精神活動の行動が制限されていますが、ここから支え合いながら頑張ろうよ。

来年には、世界で開発中のコロナワクチンも投与でき、少しずつ日常生活が戻って来るのではないかと愚僧は期待しています。1年延期された東京オリンピック・パラリンピックも規模を縮小して開催されると良いですね。古代から感染症の病氣と闘いながら人間は生き抜いたのだから、今回も新型コロナに何か学ぼうよ。合掌(奥原 曇龍)

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

『古代から感染症と人は闘い 生き抜いたから大丈夫だよ』 どんりゅう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・十二月十八日「金曜日」 午後一時から午後四時まで。
一月 一日「金曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 50

お釈迦様は成道後、マガダ国の首都である王舎城を中心に教えを広めていかれ、外教の人たちから一般の在家の人たちに至るまで、多くの人を仏教に帰依させています。

国王や王宮の人々、群臣、村長、家長、遊行僧、婦人たちがお釈迦様に帰依し、仏教教団が繁栄すると、批判する人も増えてます。

そんな中にも、給孤独(スダッタ)という在家信者が帰依した話は有名です。王舎城に豪商の在家信者がいましたが、ある時、お釈迦様および比丘衆を自分の家に食事に招待しました。前日の晩に、その商人の親戚で、コーサラ国首都の豪商スダッタがその家に宿泊してました。この豪商の本名はスダッタですが、慈悲深く、親のない孤児や身寄りのない老人などの面倒を見て、彼らに衣食を給していたので、孤独な者に給する人という意味で給孤独と呼ばれていたのです。

彼が泊まった商人の家では、夜半まで家の人々が台所で大騒ぎをしているので不審に思っている、大がかりな食事の支度は国王でも招待するのかと尋ねてみると、実は明朝に『仏陀』をお招きするのだと答えました。『仏陀』という言葉を聞き、スダッタは驚きます。

『仏陀』という言葉は、精神界の王者として、今まで世人が待望して得られないものであったのに、今その救世主としての『仏陀』が、実際に世の中に現れたと聞いては、驚かざるを得なかったのです。

彼は、お釈迦様がこの家に現れるまで待たず、早朝に起き出でて、座禅をしておられる郊外の墓場に行きますと、お釈迦様は静かに冥想されていました。スダッタが遠くから来るのを見ると、「来たれ、スダッタよ」と呼びかけられ、お釈迦様に自分の名を呼ばれたのに驚き、五体投地の礼をなして帰依しました。スダッタは後に北方のコーサラ国で広大な祇園精舎を寄附します。合掌(奥原豊彦)

コロナ禍で見舞いに行けず別れ逝く 寂しき暮れにもしびつつむ 田辺多恵子



11月3日 ともしび説法にて

ともしび法話

もう師走、何かと気ぜわしい季節となりましたが、皆様お元気ででしょうか。

お寺では師走の29日午後一時半から大掃除、31日午後3時からは除夜の鐘を撞きます。元旦のもしび説法もあり、新型コロナウイルスに負けず、お寺に集まって下さい。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

11月2日に主人の浩が満79歳でお浄土に旅立ちました。二年前から調子を崩し病院に入退院していました。几帳面で、真面目で、温厚な人で囲碁が大好きでした。これからはお浄土から見守り続けて下さい。

倉敷市西阿知町 岡野 信子

【除夜の鐘】のお知らせ

十二月三十一日大晦日の午後二時半より法要後の三時から四時まで鐘を撞きます。深夜の「除夜の鐘」ではなく、夕方に鐘を撞くのは、おとどしから三回目です。心光寺の檀家以外の人も、駐車場が広いので、気軽に参拝し鐘をならして下さい。

ともしび説法

日時・十二月 十八日「金曜日」 午後一時から午後四時まで。
一月 一日「金曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

- 二月 十九日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
- 三月 九日(火)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
- 四月 十八日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

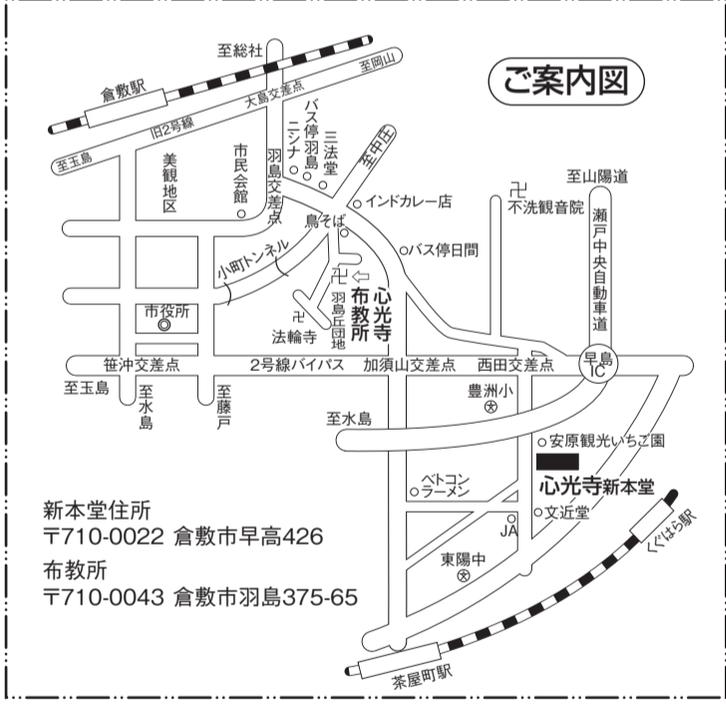


いじろの詩

今年も年の暮れが来た
楽な人生はどこにもないと
理屈を並べて
ルールどおりに動く我れ
冷静に生きても熱く生きても
ろくでなしに変わりにない
でも最後まで懸命に生きる



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 岡野信子様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「371号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦